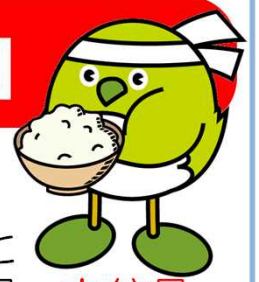


水稻新品種「なつほのか」



水稻新品種「なつほのか」とは？

「なつほのか」は、鹿児島県において「にこまる」を親として育成された新しい品種です。現在、鹿児島県、長崎県、大分県で認定品種に採用されており、下のような特徴をもっています。

一般的な品種「ヒノヒカリ」と比較して…

- ◆出穂期は3日、成熟期は6日程度早い
- ◆大粒で千粒重は重く、収量性は高い
- ◆玄米の品質は優れ、食味は概ね同程度
- ◆高温耐性に優れ、耐倒伏性も強い



	ヒノヒカリ	なつほのか
出穂期	8月26日	8月23日
成熟期	10月14日	10月8日
玄米重(kg/10a)	599	650
千粒重(g)	21.6	23.0

(農林水産研究指導センター水田農業グループ)

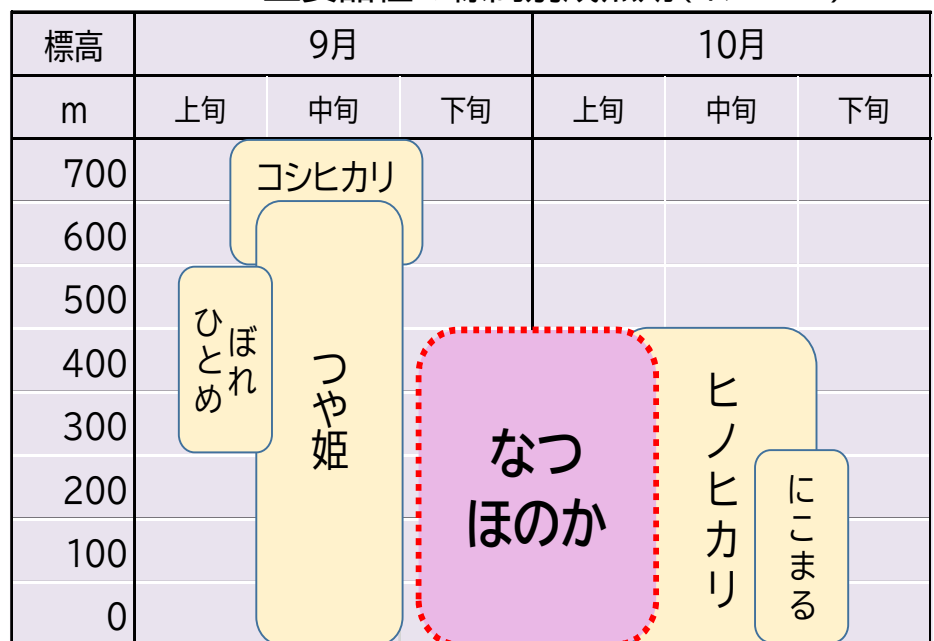
「ヒノヒカリ」と同程度の良食味の品種で、令和2年産の穀物検定協会の食味ランキングにおいて、長崎県産「なつほのか」は初めての出品で最高ランクの『特A』を獲得しています。

作期分散により作業性が向上

早生の「なつほのか」は、極早生の「つや姫」や、中生の「ヒノヒカリ」の間に成熟期を迎えます。

標高に応じて、複数品種を作付けることで、品種の集中を解消でき、収穫等の作業分散に加え、病虫害や台風等の気象のリスクも軽減できます。

主要品種の標高別成熟期(イメージ)



作成者：大分県農林水産部 水田畑地化・集落営農課 (☎097-506-3596)
農林水産研究指導センター 水田農業グループ (☎0978-37-1160)

水稲新品種「なつほのか」

ウラ面



「ヒノヒカリ」と比べて高温に強い



ヒノヒカリ



なつほのか

「ヒノヒカリ」は高温に弱く、白未熟粒の発生による品質低下が問題とされています。「なつほのか」は高温に強いことから品質が優れる傾向にあります。

令和3年度に大規模現地実証を実施

令和3年度は県内22ヶ所で試験用の実証ほを設け、現地での適応性を検討しました。各地で生育を確認する研修会や食味会も行われました。



栽培しやすく、**収量もヒノヒカリより多かった**ため良かった。品質については、**乳白等が発生していなくきれいな米**であった。ヒノヒカリと比較した食味に関して、法人内で評価は分かれたが、全体としては好評であった。

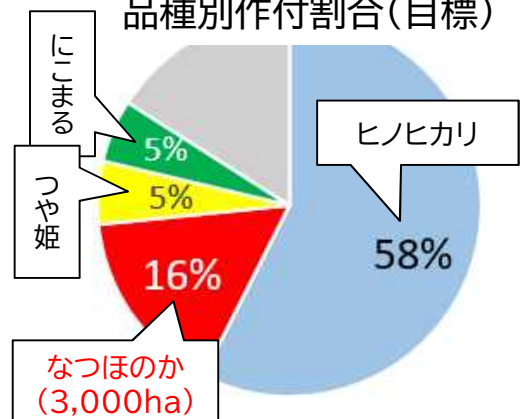


(農)畑田 都留氏
(宇佐市)

令和4年度から本格導入

大分県では、令和4年度より「なつほのか」を本格的に導入します。初年度の目標面積は1,000haで、令和6年度には、さらに作付面積を拡大し3,000ha以上を目指していきます。同じ高温耐性品種である「つや姫」、「にこまる」と併せて、この**新品種「なつほのか」を推進**していきます。

令和6年度
品種別作付割合(目標)



種子や苗についてはお近くの農協もしくは集荷団体等にお問い合わせ下さい。